

としょかんだより

(中央館) TEL 22-3225 FAX 22-7118
(夜久野分館) TEL・FAX 37-1066(三和分館) TEL 58-4715 FAX 58-4716
(大江分館) TEL・FAX 56-1017開館時間：10時～18時
(中央館は火～金：20時)
休館日：毎週月曜日、
年末年始、その他臨時休館
(分館は国民の祝日・休日)

みんないっしょに年をとる「数え年」



今の年齢の数え方は「満年齢」といって、生まれた時は0歳。誕生日がきたら1歳ずつ増えます。昔は「数え年」という、今とは違う数え方をしていました。生まれたその日が1歳。そして、元旦(1月1日の朝)がくると、誕生日とは関係なく、だれもがいっしょに一つ年が増えました。お正月には家族そろって無事に年をとることを喜びました。

参考にした本

『決まり・ならわし』 木本 洋子／文 玉川大学出版部
『道具からみる昔のくらしと子どもたち4：年中行事』 須藤 功／編 農山漁村文化協会

『由来からわかる日本と世界の行事図鑑』 山田 慎也／監修
スタジオタッククリエイティブ
『春夏秋冬の行事と食べもの』 たかい ひろこ／著 ポプラ社

図書館のお休みについて

2月の臨時休館のお知らせ

【中央館】

令和8年2月17日(火)から22日(日)まで

【三和分館・夜久野分館・大江分館】

令和8年2月12日(木)

令和8年2月17日(火)から20日(金)まで

図書館の定休日は月曜日。祝日は分館のみ休館です。

年末年始や臨時休館について、くわしくは図書館ホームページでお知らせしています。

図書館ホームページ <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/city-fukuchiyama/>

こんかい
今回のテーマ

たくましく生きる どうぶつ 動物たち

たいへんでも
たくましく生きているよ！

なんきょくけんものがたり 『南極犬物語』

(綾野 まさる／著, くまおり 純／絵
ハート出版)



にほん で なんきょくに
日本を出て南極に
きち お かんそくたい
基地を置いた観測隊。
そこには22頭のカラフ
ト犬が参加していました。
た。けれど、南極では
あくたんこう つづ
悪天候が続き、隊員た
ちは泣く泣く犬たちを残して帰国しました。
た。1年後、隊員たちが昭和基地にもどつ
てくると、そこには2頭の犬の姿が…
1956年南極に上陸した、南極観測
隊の実話をもとにしています。



『子ねずみウォルターはのんびりや』

(マージヨリー・フラック／作・絵,
おびか ゆうこ／訳 德間書店)



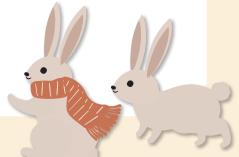
むら かぞく
ネズミ村で家族とくら
している子ねずみのウォ
ルター。ある日、ウォル
ターが学校から帰ると、
うちの中はからっぽ。
ひっこしにおいていかれ
てしまつたのです。ウォルターは家族を
さがす旅に出ることにしたけれど…
すえっ子でのんびり屋の子ねずみの
だいぼうけん 大冒険ものがたり。

『よわいいきもの』

(小宮 輝之／監修, 朝日新聞出版／編著
あさひしんぶんしゅっぱん
朝日新聞出版)



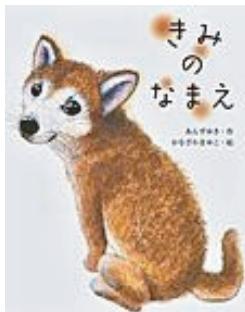
「よわいいきもの」と聞くと、どんな
いきものを思いうかべますか？世界
には、からだが小さい
さい、動きが遅い
など、よわくてもかしこく生きるいき
ものがたくさんいます。172種類の「よ
わいいきもの」を理由別に分けて、写真
やクイズで紹介します。



児童 おすすめの本



『きみのなまえ』



(あんず ゆき／作, かなざわ まゆこ／絵 こうせいしゅっぱんしゃ
校成出版社)

たくとは近所の林で見かけた、さびしそうな野良犬を家で保護しようとはり紙をしました。そのはり紙が感動のドラマを生み出します。ほんとうにあった話をもとにした、一匹の犬とその「なまえ」にまつわる物語。

『おばあのサーティアンダギー』



(上條 さなえ／作, こやま もえ／絵 さ・え・ら書房)

小学校3年生のみるくは、不登校の初心者。そんなときおとなりに引っ越してきた、デパ地下が好きなまじるさん。まじるさんはどこからきたの？まじるさんが「やさしくていい人」と思われたくなかったのはなぜ？人が人を想って生きていく、あったかい物語。

『転校先の小学校が思っていたのちがつた 1』



(みどりかわ 聖司／作, TAKA／絵 こくどしゃ
國土社)

転校初日から、校風がちょっと変わっている小学校でのありえない歓迎に、小学5年生の義信は戸惑いいっぱいなし。ユニークな先生やクラスメイト、ぶつ飛んだ授業や係の仕事、ヘンテコなお店まで、いつも予想を超えることばかり。くすっと笑えるショートストーリー。

『AIの学校』



(まつお ゆたか かんしゅう
監修 ニュートンプレス)

絵をかいたり、文章を作ったり、コンピューターが人間のようにものごとを考える技術・AI。なんでもできそうだけれど、AIが得意なこと・苦手なことはあるの？どんどん進化して、私たちの暮らしを便利なものにしてくれるAIの秘密を紹介します。

ティーズ おすすめの本



ちゅうがくせい 『中学生のマネしたくなる勉強法』



ちよ じつむきょういくしゅっぱん
(いゆび／著 実務教育出版)

これならできそう、ちょっとためしてみようかな、と思える勉強法をさがしてみませんか？時間を意識する、休憩の取り方など、集中力アップの工夫や、書き写すのではなくまとめるノートの作り方、おすすめアイテムまで。イラストや写真で楽しく紹介しています。

『ごはん食べにおいでよ』



こでまり さく サツキ／が こうだんしゃ
(小手鞠るい／作, satsuki／画 講談社)

パンの香りは、幸せの香りだ。そんなことを思いながら、ふとふり返ると、厨房で一心にじゃがいもの皮をむいている、中学生の男の子の背中が見えたような気がした。

ベイカリーカフェ「りんごの木」はまもなく開店。かつて、レシピを教えてくれた人のことを、今はここにいない人のことを思い出しながら…

ちてい ひめ 『地底の姫ラサラ』



なぎた けいこ さく しゃ
(名木田 恵子／作 ポプラ社)

地底の国の長の娘ラサラは、ある日、敵国である地上の国に出て、その景色を知り戸惑う。そして、敵国の若頭リュウとの出会いによってラサラの中で変化が起き、地底にも異変が…！地底、地上のそれぞれの想いがからみあい、奮闘するロマンスファンタジー。

ぬす よあ 『チャリを盗んで、夜明け』



くろかわ ゆうこ ちよ こうだんしゃ
(黒川 裕子／著 講談社)

中学3年生の巧海は、家庭の事情により生活費にも事欠いていた。夜な夜な自転車の窃盗を繰り返して金を稼ぐ。そんな暮らしの中、ピアノを積んだトラックの傍に座る男と出会う。社会問題を浮き彫りにしながら、救済とは何かを探る物語。